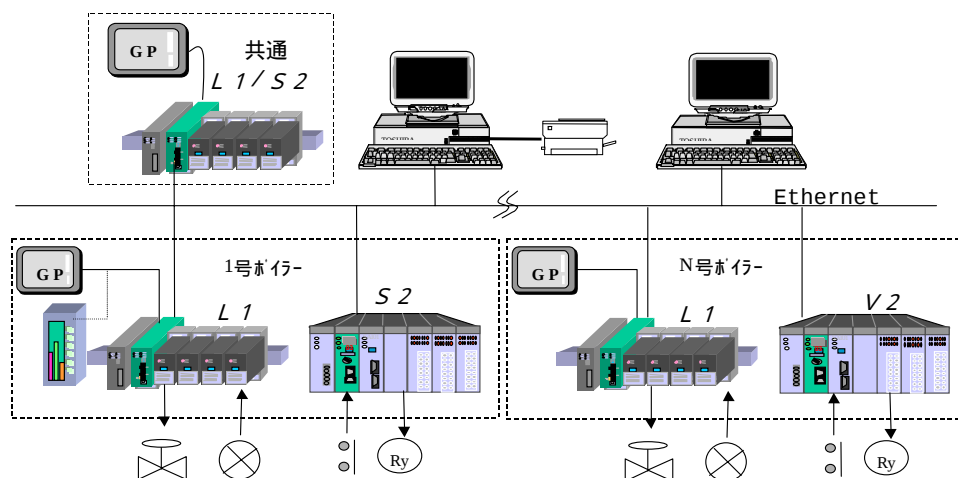


貫流ボイラ制御システム

◆ システム概要

蒸気需要の減少や負荷変動への効率的対応、あるいは運用管理コストの削減のため、小型水缶ボイラから貫流ボイラの台数制御システムへの移行が進んでいます。従来、貫流ボイラ制御は、ボイラメーカーの専用コントローラで制御されてきましたが、情報処理系接続のオープン化、長期保守、ハードウェア自主開発によるコストアップから汎用コントローラを適用するケースが増えています。下図の例は、統合コントローラ model 1000/model 2000 を適用し、計装制御は L1、シーケンス制御は S2 という分担で、複数のボイラ台数制御を実現したものです。

◆ システム構成



◆ システムの特長

- (1) 計装制御は最大 8 ループ処理のL1が担い、シーケンス制御をS2が担当します。
- (2) ボイラ単独の操作は、L1またはS2からRS485接続したグラフィックパネル（GP）で行います。
- (3) L1とS2間のデータ通信、複数のボイラ台数制御、統括監視制御はEthernetに接続したパソコンまたは共通コントローラで実現します。
- (4) L1とS2の構成でボイラ台数制御を行うシステムのため、柔軟なシステム構築と将来の拡張性が確保できます。